

平成18年度 こうか市民活動ネットワーク幹事会記録

タイトル	第1回 幹事会
主な内容	17年度の活動実績、18年度の活動方針
開催日時	平成18年4月10日（月）
開催場所	甲賀市役所3階会議室
出席	大平、林田、松島、糸井、杉田、木村、水谷、志茂、岡村、西沢、大川、鈴木、殿城、市岡、岡根、清水、杉本
内容	<p>1. 市民生活課職員の紹介 前任奥田課長が退職し、市岡課長が着任 前任神田課長補佐が異動し、岡根補佐が着任</p> <p>2. 平成17年度各部会の事業実績、予算（予定）について ネットワークの活動が10月から始動したこともあり、予算執行において残高が生じた。この執行残については市に返還する。</p> <p>3. 幹事会のメンバー増強について 大平会長の声掛けにより、本日より殿城さん（地域ボランティアコミュニティーセンターミモザの広場代表）と鈴木さん（NPO 法人秀明自然農法ネットワーク）が加入。 各支所からの推薦で、甲賀町、甲南町、土山町の方のお名前が挙がってきたので、大平さん、岡村さん、事務局でお願いにあがる。</p> <p>4. 18年度の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年計画の確認 この会が目指すものを確認しておく必要がある。もともと「協働」を中心にすえて始まった会であり、まず市から協働の考え方を聞く。市民活動ネットワークとしても3年計画というものもあるが、18年度に何をやっていくか、今後のテーマも含めて再検討する。</li> <li>・当面の予定（総会、市民活動支援補助金説明会） 総会：5月開催は無理で、6月末か7月になる（6月15日の広報で枠をとる） 支援補助金の説明会は市で計画して進める。（成果発表会と兼ねて説明会を行う予定）</li> <li>・部会制で行うか、事業ごとにその都度担当分けをするか：今後検討</li> <li>・懸案事項（会計担当の件、幹事交通費の件等）：今後検討</li> </ul>

タイトル	第2回 幹事会
主な内容	市が考える協働について、市民活動ネットワークの方向性・計画、総会
開催日時	平成18年5月8日（月）

開催場所	甲賀市役所3階会議室
出席	大平、林田、木村、岡村、鈴木、殿城、市岡、清水、杉本
内容	<p>1. 甲賀市が考える協働について 市岡課長より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公共的課題を解決していくのに協働が必要 NPO（市民活動団体）は対等のパートナー NPO側も無責任に投げ出したりせず責任を負ってほしい</li> <li>・甲賀市行政改革大綱の3つの柱でも「協働」が取り上げられている 「市民との協働による開かれた市政」「質の高い行政サービス」「効率的な行政経営と財務体質の改善」</li> <li>・協働に向けた取り組み 市内部でも部や課を超えて横断的な組織となる「ワーキンググループ」をつくり研究していく。NPO、市民活動団体、区、自治会なども学習していただく。</li> <li>・こうか市民活動ネットワークに期待すること 市民活動団体を支援する団体としての役割を果たしてほしい。協働を進めるにあたって市民活動団体の指南役をしてほしい。旧町意識にしばられることなく、甲賀市全体を視野にいれて合併後の新しい甲賀市を魅力ある町にするため議論していただく。</li> </ul> <p>2. こうか市民活動ネットワークの方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年計画</li> <li>・市民活動団体を支援する団体（中間支援センター）としての位置づけであるが、公設民営とか、公設公営など様々な形態があり、この会がそうした支援センターの役割をもつとなると、どういう形態がよいか検討が必要となる。</li> <li>・当初示された3つのセクター（NPO、行政、区・自治会）で協働を進めることを大枠で確認しておき、NPO（市民活動団体）のセクターであるこの会だけで議論していくのではなく、例えば行政のワーキンググループの方も交えて、ゆくゆくは区・自治会の方にも入ってもらって議論していくべきだろう。本来協働は別々に考えるのではなく一緒に話さないと意味がないのではないか。行政とか市民とかの枠を超えて横のつながりを再確認していく、互いに学んでいくことが大事ではないか。 (ワーキンググループがこの会に関する件については、事務局で検討)</li> </ul> <p>3. 18年度の計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流会（サロンのなもの）をひらいていく 幹事会で一回一回確認し、その都度役割分担して進めていく（部会制はとらない）</li> <li>・研修（実践を取り入れたもの）を行う キーワードを拾っていけば協働がわかるようなもの、何かをやっている人</li> </ul>

	<p>に入って感じてもらう</p> <p>4. 総会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月初旬か中旬に行う（知事選、河川清掃などの時期をはずして行う）</li> <li>・2月の視察で聞いた我孫子市長の話がよかったので講演を依頼してみてもどうか</li> </ul> <p>この他、多治見市長、前志木市長に依頼することも可能</p> <p>5. その他</p> <p>会議ばかりではなく幹事会で懇親会を開催してはどうか</p>
--	---

タイトル	第3回 幹事会
主な内容	総合計画基本構想への意見、総会開催にむけて
開催日時	平成18年6月12日（月）
開催場所	甲賀市役所3階会議室
出席	大平、林田、松島、杉田、木村、志茂、久保隅、鈴木、殿城、鹿田、市岡、清水、杉本、伴、オブザーバー（人権政策課 廣岡、杉本、野田）
内容	<p>1. 新幹事紹介・・・育児ひろばアプリコット鹿田さん 龍谷大学大学院法学研究科 久保隅さん</p> <p>2. 甲賀市総合計画の策定状況について 企画政策課 伴グループリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画は市政運営の元になるもの（H19年から10年間の計画）</li> <li>・市民の委員（策定審議会委員）20名（内公募10名）と、市職員で検討中</li> <li>・基本構想（まちづくりの理念、将来像、目標）と基本計画（施策の柱、主要施策）</li> <li>・基本構想は9月議会で議決してもらう計画、基本計画もH19年3月の議会に報告予定</li> <li>・パブリックコメントで市民の皆さんの意見をお寄せいただきたい（6月15日～7月14日）</li> </ul> <p>幹事から出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10年後にまちづくりを担う小、中学生にも意見を出してもらうのか</li> <li>・今の進捗状況はどこかでみられるのか</li> <li>・全ての情報や委員会で議論されていることがもっと公表されるべき</li> <li>・行政がやること、市民がやること、地域がやることのビジョンを皆が共有する必要がある（そういうワークショップがどこかにあるのか）</li> <li>・市役所が計画を作っても全部市役所ができないだろうし、そういうことを考えておくべき</li> <li>・「協働」という言葉がこの審議の過程で出てきたのか。出てきたとするとどういう意味で出てきたのか（必要？付き合い？）</li> <li>・将来像の中に求められる公務員像、市民像などというものは入っているのか</li> </ul>

	<p>(公務員はファシリテーターになるのか、コーディネーターになるのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「文書で出しました」では伝わらないので説明会とか、授業などで説明された方がいい</li> </ul> <p>3. こうか市民活動ネットワーク総会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月16日(日)に開催。場所は信楽公民館。往復はがきで案内</li> <li>・ 我孫子市長を呼ぶ件</li> </ul> <p>まだ甲賀全体をどうしていこうというものが見えてない状況で、もう少ししてから呼んではどうか。まず「協働とは」という話を松下啓一さん(元横浜市職員)からお聞きする。</p> <p>会議室は50名(AV関係整備)、大ホールは150名利用可能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加費：精神障害者の支援グループが飲み物の提供(300円)</li> <li>・ ネットワーク加入の意思確認：団体、個人での加入</li> <li>・ 会員情報：この会に入るメリットを出し、そのために使うということを明記する。名前、所属、旧町名くらいは名簿として出すが、その他個人情報に改めて確認の上情報を共有する。</li> <li>・ 南部振興局、JCも同じような事業を行うので情報を共有すべき</li> <li>・ 手話、要約筆記、託児：要望があれば対応</li> <li>・ 事業計画：「研修」、「交流」は今年度積極的にやっていく</li> </ul> <p>市から期待している部分として「支援事業」も考慮</p> <p>たたき台づくり</p> <p>研修を考えるチーム 鈴木 林田 久保隅</p> <p>交流を考えるチーム 鹿田 殿城 松島</p> <p>支援を考えるチーム 木村 杉田 志茂</p> <p>予算を考えるチーム 大平 林田</p> <p>久保隅さんより</p> <p>協働とはそれぞれの自治体、環境によって違うものであり、甲賀市における協働とはどういうものかという「協働指針」をつくっていく必要があるのではない</p>
--	---

タイトル	第4回 幹事会
主な内容	総会準備、総合計画基本構想への意見
開催日時	平成18年7月3日 (月)
開催場所	甲賀市役所3階会議室
出席	大平、林田、松島、杉田、木村、志茂、西沢、大川、久保隅、殿城、鹿田、清水、杉本
内容	1. 総会準備について① 計画や予算をつくるため仮にチーム分けされたメンバーで事業と予算の案

	<p>を作成し、10日までに事務局まで送付する</p> <p>チーム</p> <p>研修 : 鈴木 林田 久保隅</p> <p>交流 : 鹿田 殿城 松島</p> <p>支援 : 木村 志茂 杉田</p> <p>総会時の役割分担</p> <p>議長 西沢</p> <p>事業報告・事業計画説明 木村</p> <p>決算説明・事務局・予算説明 林田</p> <p>司会 大川</p> <p>受付 松島 殿城 鹿田</p> <p>2. 総会準備②</p> <p>  昨年の経験を活かし、質問、意見の予測。役員任期や選出方法、また会計監査についても考えておく必要がある。</p> <p>  次年度に向けて規約改正なども検討。</p> <p>3. 総合計画について</p> <p>  基本構想の案に対してできればこうか市民活動ネットワークとして意見を出した方がいいだろうし、林田さんがたたき台を作り10日に話し合う。</p>
--	--

タイトル	第5回 幹事会
主な内容	総合計画基本構想への意見、総会開催にあたっての最終確認
開催日時	平成18年7月10日 (月)
開催場所	甲賀市役所3階会議室
出席	大平、林田、松島、杉田、木村、志茂、西沢、大川、久保隅、鈴木、鹿田、立岡、清水、杉本
内容	<p>1. 新幹事紹介・・・立岡さん</p> <p>2. 総合計画基本構想（パブリックコメント）への意見・・・林田さんより提案</p> <p>(1) まちづくりの理念から</p> <p>  ◎ 七行目「望ましい生活像を」今後、創りあげていくものか既に考えがあるのか、その具体的イメージの解説が、別途あればと思います。</p> <p>  ◎ 九行目「人を呼び込むまちづくり」も解説がいきます。（観光、交流、転入のどの視点か？表現方法に工夫があればと思います。）</p> <p>  ◎ 二十三行目「特に重視すべき施策分野について」の三位となっている教育・文化面の考え方を「まちづくりの理念」の三項目の表現に、歴史や文化の言葉を掲げる必要はありませんか。</p> <p>(2) 甲賀市の将来像から</p> <p>  ◎ 「地域を担う人」とは、どのような人がイメージされますか。市民、職員</p>

議員等々。具体的に今後、求められる市民像や職員像とは、どのようなもので、地域においてどのような役割分担が、望ましいのか共有したいものです。

- ◎ キャッチフレーズで、当面どのような都市像を目指すのか。合併という転換期において、人と自然が輝き続けるためにも、旧の五町の意識や風土をすり合わせ、「地域で支えあうこと」や「力を結集する」という姿勢を、言葉にすることが、必要と思われます。(会のメンバーの多くは、甲賀市の魅力等をまず、知りたいというのが実態です。)

### (3) 将来のまちの空間づくりの基本方針

- ◎ 合併した旧町には、それぞれの中心がありましたが、市としての都市核、都市軸を明確にし、自立した都市構造にする必要があります。また、自治体を取り巻く環境が厳しい中、戦略性、重点化、優先順位が、市民の方に共有され、甲賀市にとって効果的な集中投資が必要であり、このための基本的な考えを構想で掲げる必要があります。

### (4) 将来像を実現するための分野別の目標から

#### 目標6 「市民と行政の協働により、まちの成長力を高める」

- ◎ 「協働」は、必ずしも市民との関係性のみを指しているものではないと理解します。もちろん、市民の参加の仕組みも必要ですが、今日の行政を取り巻く環境から見ますと、財政面だけでなく、制度設計に関する知恵、役割分担など、地域が支えあい、担うことから始まります。今日までの「行政(市役所)」＝「公共」から市民や企業などが、市民活動やコミュニティビジネスを通じて、地域経済や地域課題の解決に寄与する時代になりつつあります。市役所の守備範囲を小さくすることが目的ではなく、サービスを維持しつつ、その担い手の多様性を活かし、「新しい公共空間」を育てることが重要です。「協働」は「行政改革」そのものであり、自治のあり方を問い直すものとも捉まえられます。そういった観点での「協働」は、地域経営マネジメントの取り組みや考え方を指します。本来、「まちづくりの理念」として表現される方が、新しい時代にふさわしいと考えます。(協働は、まちの成長力を高めるだけでなく、自治のあり方を考え、変えるものとするなら、ここでの表現は、不適かかもしれません。)

前回欠席された幹事より「人 自然 輝きつづける あい甲賀」とあるが、市民憲章の記載や「こうか市」という読み方を定着させる意味でも「あいこうか」の方がいいのではないかという意見をもらっている。

### 3. こうか市民活動ネットワーク総会について・・・総会提出議案の確認

- ・会計監事をおくことについて・・・昨年は監事を決めていなかったもので、代表、副代表がチェックした。今年会計

	<p>監事をおくことで規約改正も検討されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利息の計上について</li> <li>・活動計画・・・交流事業は11月頃と1月頃</li> <li>・収支予算・・・あまり細かな項目を記載しない。事業の記録や報告作成経費を計上する。</li> <li>・規約改正・・・「発信」の文言を入れる。役員（幹事）を20名以内とする。会計監事を設ける。</li> <li>・総会の進行について最終確認</li> </ul>
--	--

タイトル	第6回 幹事会
主な内容	総会の反省、第2回研修会にむけて
開催日時	平成18年7月24日（月）
開催場所	甲賀市役所3階会議室
出席	大平 林田 鈴木 杉田 木村 志茂 松島 田中 大川 立岡 清水
内容	<p>1. 新幹事紹介 ござれ GO-SHU 田中さん</p> <p>2. 総合計画基本構想案への意見提出について （7月14日に市民活動ネットワークの印を押し提出）</p> <p>3. 総会の反省（情報発信について）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者もご理解いただいております、よくまとまっていた</li> <li>・出席される方の飲み物を受付時にチェックしておけばよかった</li> <li>・来て頂いた方に一言ずつコメントいただければよかった。運営する側と参加者の距離がもう少し近い方が良かった</li> <li>・情報交換という意味で、どうしても言いたいという人 先着3名くらいに情報提供してもらってもよかった</li> <li>・役割分担をしておき、スムーズに終われた</li> <li>・川瀬さんから情報発信ということで「ブログの活用」が出ていたが、情報の発信（情報提供）だけでなく、個人の考えを発信するというニュアンスもあり、もう少し勉強が必要</li> <li>・まだまだオールドメディア（紙ベース）に頼る人も多く、まずは市のHP、かふかネットのHPなどを活用していくことでどうか （かふかネットはあいコラボレーションがボランティアで担当）</li> <li>・幹事会の会議録は市のHPで出していくのが望ましい。会議概要を幹事が交代で作成し、それを市のHPに載せていく。事務局が会議用のフォームを作り、それにそって幹事が会議録をつくっていく</li> </ul> <p>4. 第二回研修会の予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月2日は県南部振興局の事業、18日はJCのカンファレンスがある</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月30日はミュージカルさすけ</li> <li>・ よって第二回研究会は必然的に9月24日（日）</li> <li>・ 龍谷大学法学部土山先生に講演を依頼 去年までイギリスで勉強された。協働や市民活動なども専門。多治見市の市民自治基本条例制定に向けての取り組みに関する。</li> <li>・ 人数は40人くらいを想定</li> <li>・ 時間は午前中 10時から</li> <li>・ 場所は柔らかい雰囲気の場所 ① 甲南図書交流館 ②甲南庁舎ランチルーム ③プララ</li> <li>・ テーマは「市民と行政の協働に関するルールづくり」か「市民主体のためのルールづくり」でどうか</li> <li>・ 行政批判をしない。この場で出た話は勝手に出さないなど、これだけはお互い守ろうという基本ルールづくりが必要 (ルールづくりは2つあって、1つは対話するためのルールづくり、もう1つは行政への市民参加のためのしくみづくり)</li> <li>・ 24日は、話を聞いた人がどのように感じたか小グループをつくって話し合う方がいいのではないか。 ○先生から話題を提供してもらってその後に話をする。(30分では短い) ○午後1時から始めて、4時半くらいに終わるのも1つの案 ○アンケートではなく、実際に話を聞いてディスカッションの中で出し合う方がいい</li> <li>・ 行政の職員も来るのなら、意見交換を入れたほうがいい。ただ、職員も午前中の方が参加しやすい ○研修という位置づけにして、業務の一環でやらないと市職員の十分な参加確保は難しいだろう（市民生活課） ○また、一度だけでなく、引き続いて参加してもらえそうな体制の方がいいだろう ○市民と関りの強い課の人に仕事として出て来てもらうほうがいい ○可能なら市長から明確に指示をもらう (商工観光課、市民生活課、福祉、生涯学習、文化振興課、環境、総務、企画・・・)</li> <li>・ 利害で話をするのではなく、様々なセクションで窓口にたつ係長クラスの人、マネージャーの人が10人ほど出てきてくれたら意義深い</li> <li>・ まずは感想から入って、思ったことを言って、それをまとめて提出するくらいでもいい</li> <li>・ 講師に「協働というものの時代の必要性はなにか」を前段の半分くらいは話をしてもらう (結論)</li> </ul>
--	---



	<p>1 時間程度で簡単なワークショップをやるということで決める。講演を1時間、残り1時間を感想もふまえてワークショップをする。できれば土山先生にファシリテーター役をやっていただく。土山先生の話は松下先生の話より少し難しくなるだろう。もう少しアカデミックな感じ。</p> <p>4—②. 市民活動支援の検討会について 木村さんから阿部さんに相談済み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月下旬の平日（水・木）で想定：参加者は葉書などで募集をかける</li> <li>・ 20日（水） 27日（水） 28日（木）の内検討</li> <li>・ 28日（木） 19時30分～21時までに決定</li> </ul> <p>場所は社会福祉センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月はじめに幹事会を開き、役割を決める</li> </ul> <p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政とのかかわり</li> </ul> <p>○市民と行政のルールづくりについて、市長と話し合いの場がもてたら素晴らしい。</p> <p>○今の時点では、市民側も市民活動に関する考え方、協働に関する考え方もまとまっていないし、市長と対話をもつためにはバラバラではよくない。</p> <p>（結論）</p> <p>市民活動団体側も勉強会を重ねて、こういう点で市長のお話を聞きたいというようにまとまった段階で市長のお話を聞いたほうがよいだろう。それが、2年目の最後になるのか、3年目の独立していくステップになってからかわからないが、市長との対話のやり方について序々にまとめていきたい。この会は、市の主要事業として位置づけられているし、今後考えていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幹事懇親会について : 秋に殿城さんのところで行う</li> <li>・ たぬき学会、甲賀文化輝き、ござれ GO-SHU など滋賀県でも注目をうけている活動で、この会議で活動の中身を聞ける場にしてはどうか</li> <li>・ 幹事のメールアドレスを共有することについて</li> </ul> <p>連絡用と意見交換用を分ける必要がある場合もあるので、リストをつくって回す</p>
--	---

タイトル	第7回 幹事会
主な内容	市民と行政の協働セミナー、支援機能研究会
開催日時	平成18年9月7日（木）
開催場所	甲賀市役所3階会議室
出席	大平 林田 木村 杉田 大川 田中 鈴木 鹿田 久保隅 清水 杉本
内容	1. 幹事会の議事録作成の件 議事録作成シートにより幹事が順番に持ち回りで簡単な議事録をつくる

2. 市民と行政の「協働」にかかるセミナー開催について  
 9月24日（日）於 甲南図書交流館 視聴覚ホール  
 龍谷大学 土山先生の講演とフリートーク（講演1時間、フリートーク1時間）
- ・24日のセミナーには行政の職員も参加  
 市職員で「地域振興会による『自治体内分権』のワーキンググループ」を創設し、「協働」や「まちづくり協議会（地域振興会）」について研究するチームをつくったので、24日にこのメンバー（17名）も参加し、市民活動団体の皆さんと話し合いをもつ予定。  
 （9月11日のワーキンググループオリエンテーションで大平、林田が市民の取り組みについて説明）
  - ・飲み物は、秀明自然農法の鈴木さんの方でお茶を用意してくださる。紙コップは事務局で用意
  - ・フリートーク（話し合い）の持ち方
    - 土山先生の話しは約1時間、話し合いが約1時間  
 質問があればメモをしておいてもらい、最後に先生のまとめの中でふれてもらう
    - 市民側と行政職員の最初の顔合わせという位置づけで、簡単に自己紹介もふくめ、自分が仕事をしている上で「協働とは」というテーマで話し合ってもらい（活動は自治会活動、ボランティア活動も可）
    - このフリートークの後、土山先生には、「陥りやすいポイント」や「地道で難しいけれど、協働は進めるべき」というまとめ方をしてもらう
    - フリートークをする前に話し合いのルールについて説明し、またペーパーでも渡す
  - ・役割分担 本日欠席の幹事にも協力依頼
 

全体の司会	大川
開会挨拶	大平
受付	田中 志茂 久保隅 (可能であれば 鹿田 松島 立岡 糸井)
グループ司会	林田 木村 杉田 鈴木 (発表も含む)
記録	各グループに入る市職員に依頼
写真	事務局
  - ・市民側の参加者が少ない可能性があるので、各幹事より声掛けをする
  - ・できればネットワークの幹事と行政のワーキンググループのメンバーで今後一回でも協働に関しての話し合いの場がもてたらいいのではないかと（「協働」について共有するためにも年度内に実現するよう検討する）
3. 市民活動支援機能の検討会について  
 第1回目 9月29日（金）19時半から水口福祉センター

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初事業計画では6回行う予定であったが、5回程度 最大20名定員で行う予定</li> <li>・最終2月に行い、3月にまとめを行う</li> <li>・名称は「市民活動支援機能の研究会」とする</li> <li>・市民活動の支援機能とは何かの勉強会、甲賀市での市民活動支援はどうあるべきか、何が求められているのかなど学習、研究していく。定期的集まって話し合っていく</li> <li>・一旦3月で出すのは中間報告とし、全体的な提言に組み込むことを検討していく</li> <li>・参加申し込み先は市民生活課で、E-mailでも申し込めるように記入しておく</li> </ul> <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹事のメールアドレスなどを共有していただくための資料を作成中</li> <li>・「こうか市民活動ネットワーク」の加入申込書(案)について、趣意書の部分、「行政に提言していきたい」を「行政と共に考えていきたいと思います」に修正</li> </ul>
--	---

タイトル	第8回 幹事会(幹事、会計監事懇親会)
主な内容	今年度の取り組み振り返り、会員交流会、第3回協働セミナー
開催日時	平成18年11月20日 (月)
開催場所	地域ボランティアコミュニティセンターミモザの広場
出席	大平 林田 岡村 丸山 西沢 鈴木 鹿田 久保隅 水谷 殿城 市岡 清水 杉本
内容	<p>1. 市民活動ネットワーク今年度の取り組み振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業・会計中間報告 総会・・・終了 協働セミナー・・・終了 第3回研修会(三重、赤目)・・・未実施 交流事業・・・未実施 支援機能検討会・・・第2回終了</li> <li>・来年度予算 10%減 45万</li> </ul> <p>2. 市民活動ネットワーク会員交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつまでも自己紹介をするのではよくないが、もう一度交流会を持ちたい。今年度、計画は2回であったが1回に変更。</li> <li>・前回は、旧町単位で各1回実施したが、今回はテーマを決めて実施してはどうか。 『子ども』『食』『歴史・文化を生かしたまちづくり』の3つのテーマに分</li> </ul>

	<p>科会方式で実施。</p> <p>担当</p> <p>『子ども』・・・鹿田さん</p> <p>『食』・・・水谷さん</p> <p>『歴史・文化』・・・大平さん</p> <p>日程：1月28日（日）13：30～15：30</p> <p>場所：第1候補 あいこうか市民ホール</p> <p>第2候補 大池寺</p> <p>第3候補 サントピア水口</p> <p>3. 第3回協働セミナー</p> <p>協働を探るのが原則。今年は、行政との話し合い。その次に区・自治会との話し合いをしてはどうか。</p> <p>前回のセミナーでは、時間が少なかった。もう一度セミナーをワークショップ形式で午前、午後を通して1日かけて行う。</p> <p>日程：2月の中旬ぐらいで実施予定</p> <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援機能の検討会・・・明日実施</li> <li>・12月3日・・・ファーストステップセミナー</li> <li>・研修会：三重県 赤目 林田さん計画</li> <li style="padding-left: 20px;">参加者・・・幹事会や市職員、まちづくりに関心のある方</li> <li style="padding-left: 20px;">3月中に実施予定</li> <li>・来年度3年目になるので、何か形になるものを。</li> </ul>
--	--

タイトル	第9回 幹事会
主な内容	テーマ別交流会、協働セミナー
開催日時	平成18年12月21日（木）
開催場所	地域ボランティアコミュニティセンター ミモザの広場
出席	大平 林田 木村 水谷 鈴木 立岡 殿城 大川 鹿田 清水
内容	<p>1. ネットワーク会計執行見込み</p> <p>現時点での執行額と予定額を説明</p> <p>報告書や記録作成手数料の分を支払っても概ね20万円程度執行できる見込み</p> <p>2. 1月28日開催の「市民活動団体テーマ別交流会」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報こうか（情報の窓）の原稿の案を検討</li> <li>タイトルをテーマ別交流会とせず、「子ども、食、歴史文化を語ろう」にしそれぞれの分科会の簡単な紹介を記入する。</li> <li style="padding-left: 20px;">「子ども」・・・子どもにも親にもやさしいまちをつくろう</li> </ul>

	<p>「食」・・・今、食の大切さを考えよう</p> <p>「歴史文化」・・・地域の特性を活かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動ネットワーク会員宛のはがき通知案を検討</li> <li>・全体の運営案について・・・鹿田さんより提案 グループに分かれる前に全体で参加者が自己紹介するべきかどうか。 アンケートを用意して感想やネットワークに期待することを書いてもらえばどうか。</li> <li>・テーマ別交流会（子ども分科会の案）・・・鹿田さんより提案 案1・・・話題提供者を入れて参加者の発言を促す 行政の方（信楽の杉本さん、彦根市の大倉さん）やNPO法人ぽぽハウスの方をよぶのはどうか。 案2・・・話題提供者を設けずに各自で活動紹介等してもらおう。 何か活動している参加者がある程度そろって、いろんな思いを話し合ってもらえたらいいし、参加者どうしゆっくり話し合いたい思いもある。 次回以降、子育て以外の分野との交流へと広げたい。最終的には、子ども、子育てネットワークのような会になり、現場や当事者の声を社会や行政に届ける。また受けられるような組織になればと思う。</li> <li>・テーマ別交流会（歴史文化分科会の案）・・・大平さんより提案 鹿深学講座を担当された方やルール&amp;ウォーク主催者を話題提供者として入れ、歴史の勉強をしながらまちづくりを進めてこられた方に話してもらって、分科会を進めていく。ただし講師謝礼は必要。お互いに相容れず、認め合わずに自分の思いだけをだされるような場になったらよくない。めざすところは、ネットワークをつくり、次のステップに進んでいこうとすること。</li> <li>・テーマ別交流会（食の分科会の案）・・・水谷さんより提案 京都の野菜文化史研究センター代表久保さんという方がおられ、長屋王家の木簡から日本最古の漬物が近江の漬物であったのではないかという仮説をもっておられ、この方なら分科会の中でいろんな話が出てきた時に「こんなことがヒントになりませんか」という具合に話を出してもらえる。</li> </ul> <p>(結論)</p> <p>「子どもの分科会」については、信楽の杉本さんに事前に声をかけておいて、甲賀市の事情を話してもらおう。また、できるだけ口コミや社会福祉協議会、「きずな」などの団体に声をかけて子育てなどに関心をもっている人に集ってもらおう。</p> <p>「歴史文化の分科会」は若い人たちを中心に絞り込んで、商工会青年部やJCの方々に、自分たちがやっていることを伝えてもらいながら、歴史を活かしたまちづくりで自分たちならどういうことができるかというものを語ってもらおう。私はこれをやっている、私はこれ・・・という具合に皆が横並びに</p>
--	--

やるのでは、そのまちの歴史を感じさせるまちづくりのアピールになっていない。外から来る人にとってはストーリーづくりが必要で、どういうふうにしてストーリー作りをしたら、甲賀が一体的にストーリーのある地域にできるか、自分たちはその中でどういうふうに位置付けられるのかを語ってもらうのもよい。

今回の交流会がきっかけになり、もう一度集まろうという話になって次のステップでワークショップを行い、素材を出しあったり、課題を出し合い、「甲賀市の魅力は何か」というような話し合いができたらい。

「食の分科会」については、甲賀市の団体は、ほとんど横のつながりを持っておられるので、それぞれの団体が次の段階を目指して、自分たちのこだわり農産物をどう商品化して、どのようにマーケットに乗せていくかというような話題で話してもらうのもよい。知識をもらいながら、そしていろんな交流ができて、次のステップに進める。

久保先生には謝礼が必要・・・交通費と謝礼をお渡しする。

### 3. 次回の協働セミナーについて・・・林田さんから提案

2回やったが、3回目は誰かの話を聞くのではなく、ワークショップを行い、徹底して議論する。広報を通じて呼びかけるが、メンバーとしては7人か8人くらいのグループで2班、もしくは6人くらいのグループで3班を想定。職員さんにも声をかける。来年には市民活動ネットワークのまとめをするため、市民と行政の協働とはとか、皆が考える甲賀市の協働ということについてきっちり話し合うべきと考える。

20代の若いファシリテーターを二人入れてはどうか。誘導するのではなく、議論を深めてまとめるところまで手伝ってくれる。セミナーというより徹底討論で、一定のアウトプットをする。

土山先生が話されたような「甲賀で思う協働の理念」、「協働とは」ということで30から40分伝えておき、甲賀市の協働とはどういうものか、甲賀市の協働事例を出し合う。地域と市民活動の違いとか、町内会と連携についても考えられたらと思う。

ファシリテーターは、京都NPOセンターの深尾さんともう一人誰かをお願いできればと考えている。彼らは一緒に一生懸命考えてくれる。

半日15,000円 二人頼んで1日すると6万円かかるが、お願いして進めていっていいか検討してほしい。

できれば幹事のメンバーにもご参加いただき、せめて10人くらいは幹事中心で、職員さんや区長さんへ呼びかけ、一部の者が取りまとめたものだが、このような議論をして提案させてもらう。

3月3日（土）9時半ころから4時半ころ

### 4. その他。

	<ul style="list-style-type: none"><li>・1月25日に4回目の市民活動支援機能研究会を開催 会のまとめを出して、来年度は皆で検討する</li><li>・次回の幹事会 1月22日(月) 19時30分から 殿城さん宅 1月28日の交流会の打ち合わせや協働セミナーについて話し合う 市民活動ネットワークから殿城さん宅に会場費を支払う</li></ul>
--	---